



祝 美馬青年会議所

1982. 4. 4日 (50歳)

## 歓迎の辞

美馬青年会議所

認承認伝達式実行委員長

前田利彦



本日、ここに美馬青年会議所認承認伝達式を開催するにあたり、徳島県知事、衆参両議員の諸先生を始め、御来賓の皆様方のご臨席のもと、又全国各地から志を同じくする先輩青年会議所の皆様方のご参加を得てかくも盛大に認承認伝達式が挙行できますことは、美馬青年会議所の会員一同無上の光栄でありかつまた終生忘れ得ぬ感激であります。

まずもって皆様方に対し深く感謝致しますとともに厚く御礼申し上げます。

美馬青年会議所は、徳島県の西北部に位置し、北に阿讃山系、南に四国山系が連なり、中央に四国三郎吉野川の清流が横たわり、その兩岸にひらけた地域で、平地部が少なく殆んど傾斜地という山間僻地の青年会議所であります。

美馬郡は一つとの認識のもと「手をつなごう新しい美馬」をスローガンに美馬郡内の穴吹町・脇町・貞光町・美馬町及び半田町の青年諸氏が一つとなって創立したのが美馬青年会議所であります。

この美馬郡の地は、古くは阿波アイの集散地として全国にその名も知られたこともありましたが、現在では全国的にこれという有名な産業はございませんが、近時、素麺の生産が盛んになってきつつある現況であります。

さて、皆様、昭和30年代頃からの日本経済の高度成長と工業の近代化は大都市への人口集中と農山村の過疎化現象を生みだしました。大都市の繁栄とは、裏腹に今美馬郡の地では、農林業の長期凋落化の問題とその後継者不足に苦悩しているという現状でありさらに又農林業と同様に商業・工業においても若年労働者の不足が深刻な問題となっております。今過疎化と老人化で苦悩する美馬!

かような現状を踏まえて私達美馬青年会議所の会員一同は、青年の果たすべき役割を自問自答しつつ、自己のトレーニングに努めるとともに青年会議所運動の究極の目的である「社会と人間の開発」という人類普遍の価値理念を追究していく所存であります。

美馬青年会議所  
に  
対  
し  
て



祝 美馬青年会議所

奉仕、修練、友情を三信条とする青年会議所の一員として私達美馬青年会議所の会員ひとりひとは、地域社会のオピニオンリーダーとして自己修練に努めるとともに、地域社会の発展を促し明るい豊かな社会を築くための礎石たらんと考えております。

この認承認伝達式を出発点として、私達は、出来る事項から一步一步、青年会議所運動を展開していく、決意であります。

どうか、今後もご支援・ご協力賜りますようお願い致します。

最後に本日の式典に際し、私達の始めての大事業であります関係上、不行届きの点が多々あるものと存じますが、私達の精いっぱい式典でございますのでどうかお許しを願いますとともにこの認承認伝達式に力強いご支援を賜りました来賓各位、先輩青年会議所の皆様方に厚く御礼申し上げます。

尚、終りに美馬青年会議所誕生の生みの親でありこの式典の影の演出者でありますスポンサー J C ・阿波池田青年会議所の先輩各位に対し、衷心より御礼申し上げます。

以上をもって私の歓迎の辞と致します。